

【日時】 令和7年6月7日 15:30～

場所:T. I. S. カンファレンスセンター C会議室

1、開会

高橋副会長より開会の挨拶があった。

2、会長挨拶（高橋会長）

山形県人口が100万人を割った。高齢化率は変わらない状態。介護保険サービスを必要とする高齢者は増えてくると思うが、介護支援専門員は少しずつ減っている。介護支援専門員協会に入会してもらうことも大切だが、まずは若い人を育てていかなければならないと考えている。

3、来賓祝辞（県健康福祉部高齢者支援課 課長 川井 幸樹様）

本県はすでに県民の3人に一人が高齢者という高齢県となっている。会長の話の中にもあったとおり、本県の人口が先月100万人を割り込んだ。高齢化に関するデータとしては、直近で令和6年10月1日現在で高齢者数約36万人、高齢化率35.6%と全国を上回るペースで高齢化が着実に進行している。県民の皆様が自分らしくいきいきと安心して暮らし続けるためには、支える環境の充実がますます重要になる。このような中、県では令和6年度から8年度までの3年間を計画期間とする山形長寿安心プランに基づく介護保険や介護予防、認知症施策、在宅医療との連携、介護に関する人材の確保育成など多様な施策を推進している。その中で介護支援専門員の皆様は、高齢者の地域での生活を第一線で支える専門職として重要ななになっていただいている。今後も人口減少に関わらず高齢化も一層進むと予想される中、介護支援専門員の皆様が引き続きその役割をしっかりと果たしていただけるよう、県としても介護支援専門員の業務の多様化に対応した研修の実施、地域づくりの実践を担う主任介護支援専門員の養成、介護支援専門員研修向上委員会の開催など人材育成に取り組んでいく。山形県には現在7,700名あまりの介護支援専門員の方が登録されており、多くの方々が地域で活躍されている。その一人一人が高い理念のもと質の高いマネジメントを地域で展開することは地域包括ケアシステムのさらなる進化・推進に不可欠であると考えている。この山形県介護支援専門員協会が介護支援専門員のための多様な活動を通してその牽引役になっていただくことを期待する。

【総会成立報告】鈴木事務局長

6月7日現在の正会員数389名中、出席正会員23名、委任状172名で、定款第30条に定められている正会員3分の1以上の出席を満たしているため、総会成立となる。

4、議長選出

議長への立候補者なく、事務局推薦となる。村山地区支部高橋菜穂子氏を指名。

5、議事録署名人選出

議事録署名人を議長より推薦となる。最上地区支部西田直子会員、庄内地区支部高橋秀典会員を指名。

6、議事

第1号議案 令和6年度事業報告の件 : 資料P3～P11 (高橋副会長)

報告内容については総会資料参照。

会費減免規程の制定により、豪雨災害で被災した会員1名の日本協会・県協会の会費を免除した件についても報告があった。

第1号議案について、賛成多数で承認された。

第2号議案 令和6年度収支決算報告の件 : 資料P12～P15 (海藤財務委員長)

会員の減少や、パソコンの購入、ホームページ作成費用、郵送料の値上がりなどによりマイナス決算となっている。

監査報告 : 資料P16 (高橋監事)

監査報告書の2、監査からの意見にて報告。令和6年度の会の運営にあたり付帯事項内容に留意するよう求める。

第2号議案について、賛成多数で承認された。

第3号議案 令和7年度事業計画の件 : 資料P17～P20 (高橋副会長)

計画内容については総会資料参照。

質問: 山形地区支部村山会員

P17の令和7年度事業計画案の(4)昨年度の豪雨災害などの教訓をいかした重大災害～～とあるが、ここに対してはどこの委員会が担当するのか事業計画の中に明示されていない。

回答: 高橋副会長

現時点でははっきり決まっていないが、体制的にケアマネサポート委員会か総務委員会になるのではと考えている。

第3号議案について、賛成多数で承認された。

第4号議案 令和7年度収支決算報告の件 : 資料P21～P23 (海藤財務委員長)

新規会員62名の入会を予定している。また、今年度も研修会を充実し収入を見込んでいる。支出は事務局員2名分の給与が昨年度より増となっている。

第4号議案について、賛成多数で承認された。

第5号議案 理事及び幹事の改選に関する件 : 別紙資料 (鈴木事務局長)

第5号議案について、賛成多数で承認された。

7、その他

事務連絡 : (鈴木事務局長)

①予算の承認を受け、会費の引落しを6月27日にさせていただく。

払込票は6月25日までとなる。

8、閉会（高橋副会長）

高橋副会長より開会の挨拶があり閉会となる。